

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	友好都市交流推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・企業	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民・企業】		
	目的・目標		事業の概要
高山市、花巻市、伊豆市と平塚市の市民や企業との交流が活発に行われています。		文化やスポーツ、産業を発展させるため、友好都市等と幅広い交流を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	15	13	15		
	実績	16	19	19		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	交流事業参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	340	340	360		
	実績	421	509	379		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
花巻市から「賢治ゆかりのバラ」を寄贈され、神奈川県立花と緑のふれあいセンター 花菜ガーデン、平塚市総合公園、旧横浜ゴム平塚製造所記念館（八幡山の洋館）に植栽することにより、相互で交流を深めました。また、伊豆市へのハイキングツアー、高山市へのスノー交流を実施し、市民交流を深めました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	産業、文化、スポーツ等を通じて交流することは、友好都市相互の産業発展や文化の醸成につながり、必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	都市間交流を継続することは、豊かな人間性を育むうえで有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	実施事業によっては、受益者負担の見直しを検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	相互事業の市民ツアーについてより効率的な交流内容や経費の見直しを検討する必要があるとともに、友好都市事業について検証します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 バス利用料金の値上げや市民ニーズの多様化に伴い、友好都市への市民ツアーの見直しをするとともに、市民が積極的に参加いただける交流事業の検討が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	1,804	2,106	1,885
事業費 (A)		1,804	2,106	1,885
執行率 (%)		73.33	89.69	84.57

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 高山市と友好都市提携35周年を迎えることから、両市において記念式典等の開催を含め、魅力ある市民交流事業を実施し、相互の交流を深めていきます。
課長コメント 相互の産業の発展や文化の醸成、また豊かな心を育むため、友好都市交流の推進は必要と考えます。今後も友好都市間それぞれの魅力ある事業を展開し、多くの市民が交流事業等に参加いただけるよう努めます。